

とつでしよう。各々のダブルセットには夢ナビのアイコンが入っています。夢ナビ講義動画サービスの視聴は、生徒が進路を考える上での意識向上にも役立てられています。

石井：大学の公式サイトやパンフレットからでは伝わりづらい「教授のリアルな研究への情熱」を感じ取ることができます。

大沼：私はこの新機能で早速、夢ナビニアブで実際に受講した講義を登録しました。通常視聴する講義動画は生徒が連携を考えて、講義動画サービスを視聴させました。生徒のアンケートを見ると、「学部や学科の名前だけではなくわからなかつた学びの内容が具体的になつた」という生徒が多かったので、理解を深めるのに役に立つたようです。大学の講義パスでの模擬授業が一般的で、ここまで体験できる機会はなかなかありません。

大沼：生徒にはこういうきっかけが大事なのだと思います。講義動画を見た生徒の受講レポートを読んで、担任は「この生徒は、こういう関心があるんだな」と把握できます。生徒は、返されたレポートを写真に撮って、ポートフォリオとして保存しています。書いたものはなるべく写真に撮って蓄積していきなさいという指導がここでも生きています。

石井：夢ナビの利用が広がったのは、夢ナビの紹介動画を見せたことが大きいです。3分間の「夢ナビTALK」を、学年集会でプロジェクトを使って見せました。生徒だけでなく先生方にも「おも

しろい」と大変好評でした。さらに今年は、教師側が紹介する「先生からのオススメ講義」という新機能もできたので、思つたはずです。

大沼：私はこの夏休みで早速、夢ナビニアブで実際に受講した講義を登録しました。通常視聴する講義動画は生徒が選ぶわけですが、高校教員のコメントも参考にしながら、視野を広げていろいろな角度から講義を選ぶことができます。

石井：リリースされた「先生からのオススメ講義」は、学年所属のそれぞれの教員が生徒への「メントを添えて講義を紹介しました。登録した「オススメ講義」を視聴してくれた生徒は多かつたようです。学年が上がるにつれて意識というのは格段に変わってきます。定期的に生徒に講義を紹介し、夢ナビ講義動画サービスを視聴するタイミングを作ることで生徒は興味を広げたり、深めたり、状況に合わせた活用を引き出すことができるかもしれません。

大沼：ひとつの例として、三者面談では国際関係学の学問に興味関心が高い生徒がいました。親からは看護も勧められていて、本人は面談の時にどうしようか悩んでいましたが、講義動画を視聴後、看護という目標が明確になりました。

た。これは講義動画によって対象が具体的になり、自分で決断できたのではないと思います。

高1の頃は、「これはやりたくない、できないな」という消去法的な思考で選択をしているところから、だんだん変化していきます。具体的な目標が見つかると、消去法ではなくなつていくのでしょうか。

大沼：そのためにも、高1・高2の夏休み冬休みには、いろいろな体験への参考にしながら、さまざまな分野を横断してプログラムに挑戦しています。最初はなるべく幅広く関わることで、興味関心の方向性を探り、その方向性が見えてくれば深めていくことができます。

石井：TAPを活かし、さまざまな分野を横断してプログラムに挑戦しています。最初はなるべく幅広く関わることで、興味関心の方向性を探り、その方向性が見えてくれば深めていくことができます。

社会における問題に気づき、社会とのつながりの中で、生徒は「自分のなすべき使命」を持つて動き始めます。そうした気つきの場をたくさん提供してあげるというのは大事ですし、そのことにTAPや講義動画サービスは適しています。このように主体的に取り組んだ体験をポートフォリオとして進路指導に生かし、大学とのさらなるマッチング、その後、看護という目標が明確になります。

大沼：ひとつの例として、三者面談では国際関係学の学問に興味関心が高い生徒がいました。親からは看護も勧められていたのですが、講義動画を視聴後、看護という目標が明確になりました。

くのか、考えなければならないですね。そのため、夢ナビの「ノンテンツも、どんどん進化していつもらいたいです。生徒が講義動画で何を感じたか、どういう変化があったかが蓄積され、教師側も適宜把握できるようになると、より的確な進路指導ができるようになります。

石井：TAPとの連携も、もっと進めています。各自が多様な可能性との出会いを繰り返すことによって、適性と能力について自己理解を深め、夢と希望の実現につながっていくと考えています。生徒一人ひとりが日々充実した人生を送ることができるよう願っています。



玉川聖学院高等部

「心を育み、自信を築く」「安全な環境で、自分と、人と出会う」「生涯続く使命と生きる力を養う」をテーマに、心が自由になる女子教育を推進しています。

〒158-0083
東京都世田谷区奥沢7-11-22
TEL 03-3702-4141
<http://www.tamasei.ed.jp>